

# 福岡証券取引所・同活性化推進協議会 第6回「企業交流会」開催のご報告

福岡証券取引所、福岡証券取引所活性化推進協議会は、平成29年3月15日(水)福岡市の「西鉄グランドホテル」において、関係行政機関、会員証券会社、福証上場企業、上場を目指す企業、監査法人、ベンチャーキャピタル等の広範な関係者を多数お招きし、第6回目となる「福岡証券取引所 企業交流会」を開催いたしました。

当日は、230名を超えるご来場者があり、ご来場の皆様から大変好評をいただきました。



開会にあたり、福岡証券取引所活性化推進協議会の松尾 新吾 会長(九州経済連合会名誉会長)が挨拶し、福証において、平成28年3社の上場があり、また、平成27年度の売買代金が188億円、平成28年度も前年並みに近づくことを述べた。更に、福証独自の取り組みとして、「企業交流会」「九州IPO挑戦隊」を紹介した。

地域経済の活性化・発展のためには地域の資金を地域の企業の成長に繋げ、域内での資金循環を促進することが重要であり、福証が、まさにこの「お金の地産地消」に向けて大きな役割を果たしていると述べ、関係者の一層の支援をお願いしました。



(会場一杯のご来場者)



ご来賓を代表して 小川 洋 福岡県知事がご挨拶され、福証が、市場の活性化や新規企業の上場に向けた様々な改革に取り組んでいること、また、今後ともアジアに開かれた金融セクターとして大きく発展して、地域の企業を支えていくことを期待していると述べられました。



第一部では、津田 純嗣 株式会社安川電機 代表取締役会長から『安川電機の経営の歴史と今後の展開』と題したご講演があり、長年の米国での勤務（経験）や新規事業分野への取り組み等を踏まえた大変感銘深い講演となりました。

講演に引き続き、第二部（交流会）に移りました。



冒頭に、平成 27 年及び平成 28 年新規上場企業 5 社と平成 27 年に新規特定正会員になられた証券会社 1 社と「九州 IPO 挑戦隊」の中で、ご出席の 15 社の紹介が行われました。



この後、第二部（交流会）の開会にあたって 森山 茂樹 財務省福岡財務支局長がご挨拶され、その中で、平成28年の福証への上場企業が3社であったことを踏まえ、福証が成長過程にある企業の資金ニーズと投資家の運用ニーズを結びつける金融センターとして、存在感を發揮されることを大いに期待するとされ、力強く乾杯の音頭をとられました。



懇親会では、福証の幅広い関係者による業種等の枠を超えて熱心な意見交換が行われ、大盛況でした。



最後に 奥井 洋輝 福証理事長より、多くの皆様に参加していただいたことに対する感謝の辞を述べるとともに、九州・山口地域の自立的経済の発展の為に、「お金の地産地消」を促進していくことが重要であることを述べ、今後も引き続き力強く福証を支えていただくことを皆様にお願ひし、閉会となりました。

福岡証券取引所では、今後もこのように本所の幅広い関係者の方々の相互交流の機会を積極的に設けてまいります。

また、個人投資家向け会社説明会「福証 I R フェア」の開催等を通じて、本所上場会社の九州地区における I R 活動のお手伝いをさせていただきます。

今後とも、福岡証券取引所をお引き立てくださいますよう、お願い申し上げます。